別　紙

障害者施策推進分科会専門部会の概要について

	障害者就労支援センターかしの木園	障害福祉センターハートフル	障害者生活支援センターともしび園
現状実施しているサービス	就労移行支援事業	生活介護事業	生活介護事業
	就労定着支援事業	地域活動支援センターⅡ型事業	日帰りショートステイ事業
		入浴サービス	
専門部会での主なポイント	「就労支援センター」として期待される役割	貸館の利用対象者拡大	
		地域活動支援センターの役割についての検討	
専門部会での主な意見	一般就労への施策は市民ニーズと一致していると感じた。一般就労への取組が弱い福祉事業者が多いので、かしの木園と他事業所との連携、ノウハウの提供が重要である。	ニーズに合致していると思う。特に貸室業務は障害者の活動の中心となっているため必要だ。	令和10年度に検討予定
	一般就労そのものへの意識が利用者からも支援者からも遠のいている気がする。市立の就労移行支援事業所であるかしの木園が牽引し、茨木市としての一般就労への意識の醸成に努めることを期待する。	市内生活介護事業所の増加に伴い、市立施設が生活介護を行う必要は必ずしもあるとはいえない。また、地域活動支援センターⅡ型は市内に1事業者であるが利用者数は年々減ってきているため、その理由も含めて事業継続かを考える必要がある。	
	精神・発達障害が中心となっているが、培われたノウハウを他の障害を持つ方へも展開・共有していくことが望ましい。	貸室の稼働率を考えると、稼働率を上げる方法があれば積極的に取り組んでほしい。貸室対象者にサービス事業者を追加することは良いと思う。現状の利用者に影響がないように申請可能期間に差をつける等の配慮して欲しい。	
	障害者就業・生活支援センターは茨木市から距離があるため、市域での相談機能の拡充が期待される。	地域活動支援センターの再編にあたっては、利用実績だけでなく、潜在的なニーズや現利用者への影響も丁寧に検証する必要がある。利用者や関係者と十分な対話を重ね、利用者の生活の質や地域での暮らしを支える機能が維持・充実される方向で、検討してほしい。	